『月刊川湯』

これからの予定!!

おりょょ と言う間にもう12月になっちゃって、とうとう月刊川湯も3号になっちゃったんだよ。うん。…ってな訳で、これからの月刊川湯について少し喋っちゃおうかな。

まず月刊川湯の担当支局について喋っちゃおう。一、二月、東京支局、三、四月名古屋支局、五、六月大阪支局七、八月川湯小学校、九月札幌支局、十、十一、十二月九州支局という事に決っちゃったんだよ。うん。それで次なんだけど、月刊川湯は川湯っ子の投書でできてる訳。それでもっともっと投書がほしい訳なんだ。わかったかなあー!!

たとえ、ハガキ一枚でもいいんだよ。まってるからね!!

それで内容なんだけど、なんでもいい訳。詩、歌、思ってる事、やってみたい事、予定、言いたい事、だれかこれいらないとか、これほしいとか、こんな事があったとか、つまりほんとになんでもいい訳よ。各支局、首を長くして待ってるからヨロシク!

最後になっちゃったんだけど月刊川湯は、川湯っ子のつながりを深めるために返事(切手)が来た人にしか、送らない事になったんだよ。つまり川湯っ子一人一人の声がほしい訳。それでほしい人は月々、ちゃんと一人一人連絡してほしい訳なんだ。

わかったーあ!?

それじゃ月刊川湯を川湯っ子のキで読みごたえのある月刊川湯にしよう〇。

なんちゃって。

くまさんでした。

ウォー!

と、クマの遠ぼえ。

タブチ、川湯、西武間にトレード成立!! なんと硫黄1トンとトレードということだ。

その肉 ヤスダも狙っているそうである。

…とにかく、ちがいた~ど。

"苦しめ"東京支部!

きょうは右手の重労働をしました。きっと、この仕事量は来年の一年分は、あると思うのです。だから、来年は、左手だけの、生活をしようと考えてます。

Sos よろぴく

マングースより

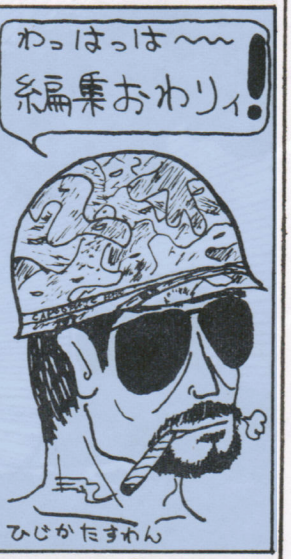
「人は何故、旅に出るの」

「さみしいからサ」

と、確か太宰治が『津軽』の中で書いていたっけ…。

あなたもそうだと思うし、そうに違いない。だから、いい旅を楽しい旅をして下さい。

ハブの心からの願いです。



ひじかたすわん

やっとのことで九州支局のノルマをはたしました。十月号は、ともかく十二月号は、ちょっと自信作であります。クマさん、ハブマン両女史どーもありがとう。

東京支部よ! No3じゃど~。

くらえ〇。

編集して、最も感じたことは、川湯の世界の広さ…とでも言いましょうか、そんなものがモロに感じられました。

月刊川湯について御意見あればどうぞ、ただし、誹謗中傷は、ちりのちにおやまとをますへすんましぇん)。

あと コピーして、折って、封筒にいれて、投函して、そして、ドンブリにナミナミと焼酎を注ぎ、二~三杯ひっかけて、二日後のテストにそなえて…… 寝るだけです。

メリークリスマス

よいお年を——

おれが若しこの新聞の主筆ならばやらむ——と思ひしいろいろの事!

悲しき玩具より……